



教職大学院だより



編集:教職実践研究科
M1 高久田

令和8年1月20日 発行 NO.12

月間合同カンファレンス

教職大学院では、理論と実践の往還を目指して、所属する院生が各自で設定したテーマに基づき研究に取り組んでいます。協力校での実習や個人での活動に加えて、自分の研究について意見をいただく機会として、定期的にかンファレンスが実施されています。9月～11月に行われた月間合同カンファレンスでは、院生が自らの研究内容についてポスター発表を行い、教職大学院の先生方や他の院生と意見を交わしました。発表者は先生方や他の院生との対話を通して、研究をさらに前に進めるための様々な学びを得ることができました。



発表を行った院生の声



私は、「中学校理科における対話を重視した授業デザイン」について研究しています。

これまで、子どもたちが科学的に探究していく学習の中で、互いの考えを伝え合い、問いを深めていく対話が、学びをより深いものにする重要な要素ではないかと感じてきました。そこで、現職派遣として教職大学院に進学し、理論と実践を結びつけながら、自身が抱えていた課題について研究を進めています。

合同カンファレンスでは、ポスターセッションを通して研究成果を発表するだけでなく、大学の先生方や院生から理科教育の専門的な視点に加え、他分野からの意見や助言をいただきました。こうした機会が自身の実践や研究を見つめ直すきっかけとなっています。

大学院での学びは、自分の実践を深めるだけでなく、教育を広い視野で捉え直す時間でもあります。研究を通して得られる気づきや対話の経験が今後の教育実践につながっていくと実感しています。

授業デザインコース1年 眞鍋 航大(現職派遣)

教職大学院について知りたいときは ...

教職大学院の情報は
こちら↓



入試情報は
こちら↓



<お問い合わせ先>
福島大学 人間発達文化学類 支援室
Mail: ningen@adb.fukushima-u.ac.jp
Tel: 024-548-8103



教職実践研究会@福島 第1回大会のお知らせ

福島大学教職大学院は、今年度から「教職実践研究会@福島」を開催します。

本研究会は、教育学、教科教育学、特別支援教育、ミドルリーダー養成など、教職大学院に関する多様な分野の研究発表を行う場として、大学院生に発表機会を提供することを目的としています。また、全国の教職大学院関係者や教育に関心のある方々との交流・情報交換の場とすることを目指しています。

初回の研究会は、**2026年3月7日(土)**に福島大学金谷川キャンパス M講義棟で開催されます。皆様のご参加をお待ちしております。

本研究会は会員制ではありません。教育に関連のある研究をされている大学院生はもちろん、研究者の皆様、そして、現職の先生方も、お気軽にご発表ください。

※詳しくは公式ホームページをご覧ください。

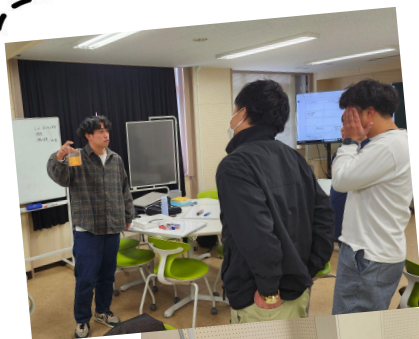
公式HPはこちら↓



参加申込はこちら↓



大学院での講義の1コマをお伝えします！！



模擬授業で理科の実験の手法を考えています。楽しそう！



院の講義では、「議論」や「思考の整理」の時間が重視されています。新たな気づきと学びにあふれた時間です。

